

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	松尾浄化管理センター増改築更新事業	会計	下水道	事業No.	309	施策順No.	45-015
		事業種別	政策・その他	予算科目	2-1-2-10-1		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	浄化管理センター		
施策	45 居住基盤の向上		事業期間	開始	6	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	松尾浄化管理センター						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		下水処理能力(日)	44400	44400	44400	44400	41600	
	意図	老朽化した設備の機能回復及び処理人口の増加に対応する処理能力を確保する						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	現下水処理能力(44,400)÷計画下水処理能力(52,000)×100(%)	85	85	85	85	85	85	B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		7池目増設工事については、22年度に日本下水道事業団に委託し工事を進めたが、廃棄物混じり土等の処分が不測の日数がかかり、23年度への繰越となった。上記以外の事業の内容については概ね目標どおりに進捗した。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	松尾浄化管理センターについては供用開始後30年以上経過し、各施設や設備機器に老朽化による機能低下が見られようになった。また、新たに下水道管整備による処理人口の増加もあるので、機能回復及び放流水水質基準確保のために計画的に増改築更新を行う事業である。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 松尾浄化管理センター増改築工事 (1)7池目増設(土木) (2)消化ガスの有効利用による発電設備実施設計 (3)長寿命化計画策定(調査)	1 第5次飯田市下水道整備基本計画(金額 1,132,000千円)に対する進捗率(金額ベース:%)	1 15.6%
23年度実施計画	1 松尾浄化管理センター増改築工事 (1)7池目増設(3ヵ年計画の2年目、土木、機械、電気工事等) (2)消化ガスの有効利用による発電設備建設 (3)長寿命化計画策定	1 第5次飯田市下水道整備基本計画(金額 1,132,000千円)に対する進捗率(金額ベース:%)	1 57.0%

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	72,500	39,500	244,810	特定財源内訳、補足事項 国庫支出金:水質保全、資源循環形成下水道事業費補助(補助率:55%、50%) 起債:下水道事業債(充当率:補助残90%) H22→23 繰越明許費 60,000千円
		県支出金				
		起債	49,100	24,800	175,700	
		その他	5,000	4,200		
		一般財源	22,000	19,300	38,990	
		計(A)	148,600	87,800	459,500	
	正規職員所要時間		2,880			
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)		10,299			
	トータルコスト A+B		98,099			

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> 地元市民からは臭気の発生や降雨時の汚水の流出などに対する危惧、消化ガスの有効利用の検討など様々な意見や要望があります。 議会からは汚水のイメージを払拭し、安心してもらえるよう地域の環境整備を推進することや施設の耐用年数等の延命を工夫するようとの意見があった。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠、特殊要因)	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞在者、事業者の生活・事業に必要な基盤が整う。	施策の成果指標又はムトス指標	居住基盤の満足度(%)
				0.755
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 「第5次飯田市下水道整備基本計画」を策定し、汚水量増加に対する機能増設と機能維持のための増改築更新事業を進めることにより、処理能力の向上と安定した水処理を行ってきた。 		
	後期に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> 「第5次飯田市下水道整備基本計画」に基づき、経済的・効率的に事業を進める。 長寿命化計画の策定を行いながら、焼却施設については処理方式、規模等について検討する。 		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年6月に「第5次飯田市下水道整備基本計画」を策定し、計画的に事業を実施した。 消化ガス発電については、民間会社と共同研究という形で平成21年4月より1年4ヶ月間発電試験を行った。発電試験を検証し、効率的な資源・エネルギー等への利活用プランの策定を行っている。 		
	後期に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> 「第5次飯田市下水道整備基本計画」に基づき、経済的・効率的に事業を進める。 消化ガス発電システムの増設については、発電機種性能、設置費用、維持管理費用などを検討し、設置機種を検討する。 		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 消化ガス発電システムを設置し、電気料の削減を行った。 7池目増設工事の設計においては、将来的に維持管理費、運転管理費が最小限に抑えられる最新機器及び材料の導入を検討した。 		
	後期に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> 消化ガス発電システムを増設し、更なる電気料の削減。 7池目増設工事においては、維持管理費等が最小限に抑えられる最新機器及び材料の再検討及び導入。 		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 下水道施設は市が設置する施設であり、施設改修に要する費用は下水道事業受益者負担金と下水道使用料に添加されており、負担の程度は条例により妥当である。 平成22年度には料金改定を行った。 		
	後期に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少や節水型機器の普及等により使用量の減少が懸念される。また平成27年度には下水道事業債の返済がピークとなる。これらを勘案した平成25年度の次期料金改定が課題である。 		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ①松尾浄化管理センター連絡協議会については、松尾自治会長ほか関係地区との間に取り交わされた覚書に基づき、センターに関する諸事項について協議し、健全な運営に寄与するとともに地域の環境保全を図っている。 ②行政としては、年1回の協議会に下水道事業の現況、センターの運転管理や工事状況の報告を行っている。 ①近隣組合、放流口隣接者居住者組合については、両組合の間に取り交わされた覚書に基づき、センターに関する諸事項について協議し、健全な運営に寄与するとともに地域の環境保全を図っている。 ②行政としては、年1回の協議会に下水道事業の現況、センターの運転管理や工事状況の報告を行っている。 		
	後期に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の方々に施設のことを知っていただくための見学会の実施やPR方法の検討。 		
全体を通じて	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・全体事業量・全体事業費の見直しにより「第5次飯田市下水道基本計画」を策定し、計画的な事業実施を行った。 ・7池目増設工事が終了すると、松尾浄化管理センターの増築事業は終了となる。 		
	後期に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は更新事業が主となるため、水処理、汚泥処理施設それぞれ長寿命化計画を策定し、施設の改修を計画的に行っていくことが必要となる。 		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------